

## 第423回：中国外交部門のグレードアップ？

第二次習近平政権が誕生した17年10月の共産党大会におけるサプライズの一つが、外交を担当する楊潔篪(ようけいち)国務委員がヒラ中央委員から中央政治局委員に昇格したことだった。

下表は中華人民共和国成立以降の歴代外交部長(外相)の一覧表である。いまの外相は駐日大使出身にも拘わらず日本の悪口ばかり言う、元日本語通訳の王毅。周恩来から数えて第11代外相だ。

むかしの中国外交部長は周恩来、陳毅、呉学謙等、それなりの風格のある大物政治家が勤めてきたが、近年では銭其琛(元副首相)を最後に、中央政治局に入れない、副首相にもなれない、というトホホの状況が続いてきた。何故か？小物揃いの外交部長だったからか、それとも中国の外交政策決定における外交部の地位の低下を示すものか、おそらく原因は両方にあったものと思われる。

はっきり云って楊潔篪氏も中国外交の歴史に残る人物とも思えないが、彼の党中央政治局入りは外交部門の凋落傾向に一定の歯止めをかけることになるかもしれない。

クラウゼビッツが「戦争とは他の手段をもってする政治の継続である」と喝破したように日本のような特殊な国を除けば、アメリカにせよ中国にせよ対外政策の要となる部署は外務省と国防省である。

中国において人民解放軍は、近年共産党政治局に軍事員会副主席の二名を送り込んでいるのに対し、外交部門からは誰も政治局入り果たせていない。中国は隣の北朝鮮と違って先軍政治の国ではないので、これでは釣り合いがとれないと誰もが思う。

## 歴代外交部長

氏名	生年	時期	党職位	その他政府の職位	その他	言語
周恩来	1898	49-58	★	首相		
陳毅	1901	58-72	◎	副首相	元帥 軍委副主席	
姬鵬飛	1910	72-74	—	副首相	全人代副委員長	
喬冠華	1913	74-76	○			独 英
黄華	1913	76-82	○	副首相	全人代副委員長	英
呉学謙	1921	82-88	○⇒◎	国務委員⇒副首相	政協副主席	
銭其琛	1928	88-98	○⇒◎	国務委員⇒副首相		露
唐家璇	1938	98-03	○	国務委員		日
李肇星	1940	03-07	○			英 西
楊潔篪	1950	07-13	○⇒◎	国務委員		英
王毅	1953	13-	○			日

注 ○党中央委員 ◎政治局委員 ★政治局常務委員

もう一つ重大なことがある。今後中国は北朝鮮や、南シナ海、インド等の地政学が絡む政治問題で、米国

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3

との対話の必要性が益々高まることになる。

問題は米国のカウンターパートを中国の誰が勤めるかということだ。理論的に云えば R・ティラーソン 国務長官の相手は王毅外相、J・マティス国防長官の相手は常万全国防部長だが、彼ら二人の中国国内の序列は 50 番～100 番目程度に過ぎず、これではトランプ政権で 5 本の指に入るティラーソンやマティスとの釣り合いがとれない。かといって王毅の相手に J・サリバン 国務副長官が登場すれば中国のメンツはないし。

そんなわけで、外交を担当する副首相級の楊潔篪 国務委員を、中国の国内序列 25 位以内の政治局委員に昇格させることにより、カウンターパート同士の不均衡問題が多少は是正されたといえよう。

これまで習近平主席の外交活動で、常に彼の横に控えていたのが王滬寧政治局委員であった。その彼が政治局委員から昇格し、チャイナセブンの政治局常務委員となった。王氏の新職務は「中央書記処書記、兼、精神文明建設指導委員会主任」である。わかりやすく云えば、共産党の日々の業務を総攬する事務局長兼、宣伝(プロパガンダ)部門の最高責任者である。チャイナセブンの序列は第 5 位だが、習近平主席、李克強首相に次ぐ重要ポストである。これまでのように王滬寧が習主席の外交活動に常に同席するのは、不可能に近く、王氏の代わりとなる外交の知恵袋を確保する必要があり、当面そんな人物が見当たらないことから、やむなく楊潔篪を政治局入りさせ、様子を見ようということだろう。

今回チャイナセブン入りを果たした汪洋副首相は、来春の全人代で全国政協主席に就任する可能性が高そうだが、彼は副首相(商務部門担当)として米中戦略経済対話における「中国の顔」として活躍しており、同氏が当面は王滬寧氏の代役を勤めることになるだろう。行政能力に秀でた彼に相応しいポストは閑職の政協ではなく、筆頭副首相か、国家副主席だと思うのだが。

米中対話で汪洋の前任を勤めたのは、この 10 月に党中央から身を引いた王岐山。彼は来年の全人代で、中国外交の「顔」である国家副主席に就くのではないかと噂がある。王氏はいまや単なる一共産党員に過ぎないが、過去に非党員の宋慶齡や、非黨員とされていた榮毅仁が勤めた前例がある。

因みに孫文夫人の宋慶齡は逝去直前に入党が承認され、一方中信集団(CITIC)の創設者「赤い資本家」榮毅仁は死後に共産党員であったことが明らかになった。榮毅仁が 85 年に入党したときの推薦人は習近平の父親の習仲勲、入党許可を与えたのは鄧小平だった。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成29年11月24日

## 筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱 UFJ 信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 121 号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

## ご投資にあたっての注意事項

### 手数料等およびリスクについて

#### ① 株式の手数料等およびリスクについて

- ・ 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- ・ 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ② 債券の手数料等およびリスクについて

- ・ 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

#### ③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- ・ 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- ・ 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- ・ 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3

